

浄土宗 宗紅寺だより

◆心を整える秋彼岸



暦の上では秋を迎えましたが、厳しい残暑が続いています。いかがお過ごしでしょうか。さて、社会に目を向けると、国際関係の不安定、物価の上昇、環境問題など、落ち着かない話題も多く、私たちの暮らしや心に少なからず影を落としています。こうした不安や変化の多い時代だからこそ、心の支えとなるものを見つめ直すことが求められています。

浄土宗では、春と秋の彼岸を「仏道に励む特別な七日間」として大切にしています。「彼岸」とは文字通り「彼の岸」、すなわち迷いや煩悩に満ちた此岸（この岸）から、悟りと安らぎの世界である阿弥陀さまのお浄土を思うことを意味します。お彼岸は、先祖を偲び感謝の念を深め、お念仏を称え、阿弥陀さまの慈悲に心を寄せる期間です。お墓参りや法要を通して、命のつながりを感じ、日々の暮らしを照らす教えを確認するひとときといえます。現代は情報にあふれ、心が休まらない日々も少なくありません。そんな中、南無阿弥陀仏と称えるお念仏は、忙しい生活の中で心を落ち着け、安心を与えてくれます。阿弥陀さまはすべての人を分け隔てなく救うという誓いを立てられ、その光は苦しみや不安を抱える私たちにも等しく届きます。秋の彼岸は、こうした仏さまの慈悲を感じる最高の機会です。どうぞ、この秋彼岸の法要を通じて、先祖への感謝と仏さまの教えに触れる時間をお過ごしください。

◆秋彼岸法要の日時

九月二十日（土） 十三時

九月二十一日（日） 十三時

布教師・長崎教区法源寺 松野瑞光上人
演題「お天気はかえられぬが、
心の向きはかえられる」



お説教
川棚 法源寺
松野瑞光上人

彼岸回向は、一霊・千円

※別途、志（御供物代）をお納め下さい。

**宗紅寺の墓・納骨堂をご利用の方は、
ご回向の申込みをお願いいたします。**

ご遠方の方には法要後「回向の證」を郵送します。お仏壇に納めてご先祖様に報告しましょう。郵送による事前申込みは、このお便りが到着後、いつでも可能です。

◎新本堂にお参りしよう！

お寺に行ってみたけれど、「特別な知識や信仰がないといけないのでは…」とためらってしまう若い方もいるかもしれません。

お寺は、誰にでも開かれた「心を整える場所」。近くを通ったら立ち寄って、静かに手を合わせるだけでも、気持ちが落ち着くことでしよう。本堂に足を踏み入れたら、まず深呼吸をして心を整えてみましょう。

お願いごとをする場所というよりも、「日々の感謝を伝える場所」と考えると自然に心がやわらぎます。

家族の健康、今日も無事に過ごせていること、季節の移ろいや自然の恵みなど、身近なことへの感謝を込めて手を合わせると、不思議と心が軽くなり、お寺という存在が身近に感じられるはずです。

本堂の阿弥陀さまを前にして「南無阿弥陀仏」とおとなえしてみましよう。

散歩の延長で境内を歩き、静かな時間を味わうだけでも、それは立派な「お寺まいり」です。そして、特に大切なのが「菩提寺」の存在です。家族や先祖とつながりを持つ特別な場所として、心を寄せるきっかけになります。

お寺は、心を整え、暮らしに豊かさをもたらす身近な存在です。まずは一度、気軽な気持ちで宗紅寺を訪れてみませんか。



◎新しい宗紅寺のホームページ

このたび、宗紅寺のホームページが新しくリニューアルしました。
ホームページでは、当山の最新情報をお届けするインスタグラムや、気軽にご連絡いただけるラインにもアクセスできます。
法要や行事の様子、季節ごとのご案内も随時更新してまいりますので、チェックしていただくと宗紅寺の活動をより身近に感じられます。法要の案内や日時の確認も行えます。
皆さまの日々の暮らしの中で、宗紅寺のホームページがちょっとしたお役立ちの場となれば幸いです。ぜひ一度、「宗紅寺」と検索して、気軽にアクセスしてみてください。

◎和順婦人会「日帰りバス旅行」

宗紅寺和順婦人会主催による初めての企画「日帰りバス旅行」に、多くのお申し込みを賜り、誠にありがとうございます。
ご参加をお申し込みいただいた皆さまには、秋彼岸法要中（法要の前後の時間帯）に、参加費四千元をお納めくださいますようお願いいたします。
受付には参加者名簿と領収書を準備しておりますので、係の方にお支払いください。
なお、本旅行の募集は九月二十一日をもって締め切らせていただきます。参加をご検討中の方は、お早めにお申し込みください。
皆さまに心豊かなひとときをお過ごしただけのように、現在鋭意準備を進めております。どうぞ安心してご参加ください。

◎詠唱の練習・会員募集

九月の詠唱練習は、九月十二日（金）午後一時半から行います。
浄土宗の詠唱は、法然上人の教えを音楽や舞を通じて表現するもので、法要の際にお念仏とともに唱えたいと思います。
練習の様子を見学していただくこともできますので、興味のある方はどうぞお立ち寄りください。和やかな雰囲気の中、いつも楽しく練習していますよ♪



R7. 7. 22 施餓鬼法要

◎仏教って何を教えてるの？

仏教の出発点は、「人生には思い通りにならないことや、さまざまな苦しみがある」という事実を、まずは静かに受け止めることです。病氣や老い、大切な人との別れなど、誰にでも訪れる出来事を仏教では「苦（く）」と呼びます。

その苦しみの原因は、欲望や執着、無知といった心の働きにあります。そこで仏教では、それらを少しずつ手放し、心を軽やかに、穏やかにする道を歩むことを勧めています。

浄土宗では、その実践として、阿弥陀さまを信じて「南無阿弥陀仏」とお念仏をとることを大切にしています。

お念仏は、苦しみを和らげ、心を落ち着け、安らかに生きるための温かなよりどころになりますよ。



R7. 8. 15 盂蘭盆会